

記載例 国の規制・制度の改革に関する提案

提案事項管理番号 ※事務局入力欄	提案区分	提案事項名 (タイトル) (必須)	提案の視点 (必須)	提案の具体的内容 (必須)	提案理由 (必須)	根拠法令等	制度の所管官庁 (必須)	提案主体名 (会社名・団体名) (必須)	会社名・団体名 の公表の可否 (必須)	提案主体 分類コード	提案者 連絡先 ※非公開情報		
											提案者氏名 (担当者名) (必須)	電話番号 (必須)	e-mailアドレス (必須)
	規制・制度	住居系用途地域における 共同住宅の附属駐車場の 面積制限及び階数制限の 緩和	基準や要件の 見直し	共同住宅に必要な駐車場を全て確保で きるよう、住居系用途地域における共同 住宅の附属駐車場の面積制限及び階数 制限を緩和すべきである。	共同住宅の附属駐車場の面積は建物規模及び敷地規模にかかわらず絶対面積にて制 限されている。一方で、都心部では、共同住宅のニーズが高く、規制が定められた頃比べ、大規模な共同住宅の開発が進んでおり、共同住宅の規模が大きき場合には、①駐車 場の設置率を低くする。②敷地を細分化して利用する。③延べ面積に算入されない平面式 駐車場の数を多くする、といった計画とせざるを得ない。その結果、①自動車収容しきれな い。②土地の細分化が促進される。③敷地の大部分を平面式駐車場とするため緑地面積 が減る、といった弊害が生じている。また、共同住宅の附属駐車場の階数が2階以下に制 限されていることによっても同じ弊害が生じている。 確かに、一団地認定を取得した場合の緩和措置はあるものの、緩和された上で、絶対 面積制限があるため上記の弊害は生じている。もちろん、住環境を保護する上で、共同住 宅等の規模に一定の制限を加えることは理解できる。しかし、一定規模の共同住宅の建設 が認められる一方で、駐車場に関する独自の規制が存在するために、共同住宅の規模に 見合った駐車場が確保できない、あるいは無理矢理確保するために土地の利用効率の悪い 平面式駐車場を多くするという事態が生じてしまっている。	建築基準法第48条	国土交通省	社団法人××	公表	h社団法 人・財団法 人	〇〇一郎	***-****- **** (内線 **)	***@****.***
	規制・制度	エレベーター昇降路への 配管設備の設置及び構造 規制の緩和	基準や要件の 見直し	エレベーターに関連しない配管設備で あっても、安全性が確保できればエレ ベーター昇降路への「その他配管設備」 の敷設を認めるべきである。	エレベーター昇降路は、建物内の数少ない緩抗であり、既存の建物の用途変更に伴う、 インフラ整備に伴う配管配線の敷設に活用できることになれば、光ケーブルの縦線敷設が 容易に、低価格に可能になり、既存建物におけるIT情報化を加速的に進めることが可 能になる。 本条項の目的は、エレベーターに必要な配管設備以外のものの設置によって、エレベ ーターの安全性を損なうことになることを懸念したものであるが、エレベーター用配管設備 と同等の敷設構造をもたせることなどで、安全性を確保することは可能である。	建築基準法施行令 第129条の2の5第1 項第3号	国土交通省	〇〇株式会社	公表	民間企 業	〇〇二郎	***-****- **** (内線 **)	***@****.***
【記載に当 項たつての 留意事】	規制・制度の改善内容を端的 に示す事項名を記入してくだ さい。(最大50字)	※ブルグワンメニューから 該当するものを選 択してください。		・提案事項の具体的内容を記入してください(必ず しも法令上の問題でなくとも、運用が規制的 問題がある場合も含まれます。) ・提案が法令上の問題である場合には、根拠と なる法令等による規制を撤廃する提案であるの か、数量等の規制を緩和する提案であるのか (数量等については、どこまで緩和する必要があ るのか)を記入いただくと、提案の内容がより明 確になります。	・現状の規制・制度の問題点、改善の必要性・根拠をできるだけ明確に記入してください。 ・単に規制・制度を廃止するというだけではなく、どのような規制・制度に換えればよいのか等を記述する と効果的です。 ・規制・制度改革により、どのような事業が可能となるのか、逆に、現在の規制によってどのような事業が できないのか、具体的なニーズがある場合には、以下のように、ニーズに基づいて記述すると効果的 です。 ①これまでに事業の実施を断念した等の具体的事例がある場合には、その経緯を明確に記入。 ②提案事項が実現した場合に、実施しようとする具体的事業等がある場合には、その内容を効果も含 めて記入。 ・過去に「国民の声」などで、政府に対して同様の提案を行ったことがある場合には、その旨記入いた だくとともに、その際の各省庁の回答内容や、関連する審議会等での議論を基に、反論や懸念事項の具体 的な解決方法等を提示した上で、再提案されることをおすすめます。また、過去の提案とは異なる視点 からのアプローチにより、当初の目的の達成が可能となる場合もありますので、様々な視点からご検討 ください。	規制等の根拠、又は 改正すべきであると考え る法令等の名称及び 該当条項等を記入 してください。 なお、今回の提案受付 の目的は、国の行政機 関に係る規制・制度の 改善を行うものであり、 国会・裁判所・地方自 治体・民間企業などが 独自に定める規則等 は、原則として提案の 対象とはなりませんの で、ご注意ください。	対象根拠法令・制度を 所管する省庁名を記入 して下さい。 なお、今回の提案受付 の目的は、国の行政機 関に係る規制・制度の 改善を行うものであり、 国会・裁判所・地方自 治体・民間企業などが 独自に定める規則等 は、原則として提案の 対象とはなりませんの で、ご注意ください。	団体・法人による提案 の場合には、団体名・法 人名を記入してください。 個人での提案の場合 は、「個人」と記入して ください。 ※「公表」とし た場合でも、個 人の提案の場合 は、「個人」と 公表されるのみ で、氏名は公表 されません。	提案主体名の 「公表」「非公 表」の別をブル グワンメニュー から選択して ください。(「提案 主体名」のみ非 公表とするこ とが可能です。 提案内容は公表 が前提です。) ※「公表」とし た場合でも、個 人の提案の場合 は、「個人」と 公表されるのみ で、氏名は公表 されません。	複数の主体による共同提案である場合 は、その連絡担当となる方を記入して ください。 提案内容の詳細について当該連絡先に 当室から連絡・確認させていただくこと がありますので、ご協力をお願いします。	担当者のe-mail アドレスを半角英 数字で記入して 下さい。 (ハイパーリンクは設 定しないで下さい。)		

提案内容を端的に示す事項名を
記入してください(50字以内)。

提案内容を具体的に記入して
ください(250字以内)。

提案の背景・ニーズ、効果、現状における弊害
を具体的に記入してください(750字以内)。

ご記入いただく際に、下記の事項につき、ご協力をお願いいたします。
注1) 複数の提案を行う場合は、複数シートに分けず、1シートにまとめてご記入ください。
注2) 1つの提案は、必ずセルの一つの行でご記入下さい(セルの統合、欄の追加・削除は、行わないで下さい)。複数の事項を提案するときは、事項毎に一提案(セルの1つの行)としてご記入ください。
なお、ご記入に際し、セルの幅は調整いただいて構いません。
注3) 提案の具体的内容のセル内には250字以内、提案理由のセル内には750字以内でご記入ください。字数を超えてしまう場合には、要旨をセルに記入いただき、詳細は別添資料として添付して下さい。